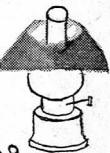


読者
のペー
ジ



ページ

読者のためのページです。

質問、本誌に対する御意見、御感想等どしどし御寄せ下さい。

草地改良をするには

問(一) 私の家は耕地面積が狭いので、耕地の周囲や道路のふち等を有効に利用して採草しておりますが、肥料を施さないためか、あるいは刈取回数が多いためか、最近、収量が減じ、雑草が急激にふえてきました。優良草地にするにはどんな方法が良いでしょうか。また牧草の適品種もお知らせ下さい。

(二) やちたも木の生育する笹地を探草地に改良しようと思い、昨年より笹を刈取り、今年も八月に刈取りました。いよいよ牧草種子を播きたいと思いますが、適品種と改良方法を御教示下さい。

(北海道紋別郡生田原町 秋田勝利)

答

一 路傍の草地改良

路傍や耕地の周囲の牧草を毎年刈取つているうちに、しだいに葉が小さくなり収量

が減じ、雑草がはびこってきたとのことで、それは当然考えられることで、牧草を播種して五、六年もたては改めて改良の手を加えなければなりません。

一般に、路傍や畦畔、堤防を耕起せずに草地改良する方法には、追播と移植との二方法があります。そのいずれを採るかは土地条件と雑草の種類により決められます。

追播法

(1) 貴地(寒冷地)では八月中に先ず雑草を地際から丁寧に刈取ります。(暖地では九月中旬~十月上旬)

(2) 次に、石灰(炭カル)で一〇kg当たり二〇kg(内外)と化学肥料を全面に撒布し、デスクハロー、カルチベーター、レーキ等で地表をかきまわし、土と肥料とが混じるようにします。肥料は一〇kg当たり硫安二〇kg、過石三〇kg、硫酸一〇kgくらいです。

(3) 牧草はマメ科とイネ科の混播にし、全面に均等に散播し、覆土のために一度レーキ、ハロー等をかけて種子が土によく接着するように行ない、最後に鎮圧しておきます。鎮圧の方法はローラーを用いるのが理想的ですが、足で踏みつけたり、レーキで抑えつけたりするだけでも十分効果があります。

(4) 草地改良に適する牧草は、オーチャードグラス、ラデノクローバー、メドウフエヌシ、チモシー、赤クローバー、アルサイククローバー、ベニニアルライグラス等がありますが、貴方の場合には次の混播例(各一〇kg当り)が適当でしょう。

一 路傍の草地改良

路傍や耕地の周囲の牧草を毎年刈取つているうちに、しだいに葉が小さくなり収量

路傍(頻繁に刈取または繫牧)

(ラデノクローバー) 一・〇kg

オーチャード

(ペニアルライグラス) 一・〇

(赤クローバー) 一・五

(ラデノクローバー) 一・〇

チモシー 一・五

(オーチャード) 一・〇

移植法

(1) 移植は春に行なうのが好結果を得られ、前年か早春に苗仕立をしておいたもの用います。苗は小面積の苗床にマメ科イネ科を密混播しておきます。

(2) 前処理、施肥等は追播法に準じて行ない、三〇kg間隔くらいに一つまみずつ苗を植えます。

(3) 以上で完了ですが、その後の管理が大切で、幼い牧草が雑草に被壓されないように掃除刈を行ない、放置しつばなしにならないように心がけるべきです。つまり牧草と雑草とは、刈取及び施肥を繰り返して行なうほど、両者の差は著しく開いてくることは御存知の通りです。

二 笹地の草地改良

笹地は他の雑草が少ないので草地改良を行ない易く、笹を刈取つて(または火入れ)直ちに施肥及び牧草の播種を行なうだけです。しかし、それより前の時期でも差支えありません。

(北海道紋別郡生田原町 秋田勝利)

× × ×

(上野飼育種場・かねこ)

笹をなるべく地際から刈取り、または延焼しないよう区画して火入れを行ない、前記と同じくらいの化学肥料を散布し、もし土壤が強酸性の場合には石炭の散布も行ない、牧草を播種します。草種は貴方のところでは

メドウフエヌシ、アルサイククローバーを加味し、乾燥地では白クローバー、トール

オートグラス、ケンタツキ、31フェヌス、バーフットトレフォイル等を組入れます。

そして、翌春から刈取りまたは放牧を行ないますが、刈取りは草丈四〇~六〇cm頃に行なうこと、放牧は過放牧に陥らないよう特に注意しなければなりません。年間に三~五回可能です。翌々年にも同量の施肥と収穫を実施すれば笹は次第に消失し良好な牧草地が出現いたします。

なお、樹木を伐採し切り株が残ることは、将来のために好ましくないので、なるべく掘り起すようにつとめ、また、笹の切れ口が家畜の足裏に刺さって痛める場合がありますので御注意下さい。